

森のおくりもの 1月



スズメ (スズメ科)



新年あけましておめでとうございます

開園から25年が過ぎて、ヤマツツジの丘からヨシの湿地へ抜ける木製の橋が腐食して危険なため通行止めになりました。ご不便おかけしますが架け替えまでしばらくお待ちください。

近年は、自然の力を思い知らされる出来事が次々と起きていますが、今年はどうのような一年になるのでしょうか。よい一年になりますようにスタッフ一同頑張っまいますので、今年もよろしく願いいたします。

【写真・文 早坂 徹】

これでもタカなんだぞ トビ（鷹）



冬になると、木の葉がなくなるので空がよく見え、猛禽類の姿を目にする機会が増えます。

トビは鷹の仲間なのに、狩りをする姿はあまり観察されず、カラスに追いかけていたり、河川敷などで餌をやっている人から、エサを横取りしたりと、あまりいい印象がない？かもしれませんが、とてもすぐれた能力をもっています。

●^{*}過眼線が黒いので、ちょい悪に見える時も・・・



【全長：60～65cm】

翼を広げたら150～160cm！！

●下からみると、褐色の翼に白い斑がある。白い翼で、ここが茶色だとノスリ



●双眼鏡でよく見ると可愛い眼をしています。



●尾羽の形が三味線のバチのようになるのが特徴ですが、そうでない時もあります。（凹尾になる）

●主に弱った魚や、死んだ生きものを食べます。

♪ぴーひょろろ～♪と鳴きながら翼を広げ、上昇気流にのってみるみる高くあがっていきます。羽ばたきもせず優雅に飛んでいる姿は、本当に気持ちよさそう。このような省エネ飛行ができるのは、風を読む能力があるからこそ！！どこで上昇気流がおこっているのか、トビにはわかるのです。

飛翔中のトビの尾羽を見ていると、舵を切るようにこまめに動かしてバランスをとっているのが分かります。そして、飛びながらエサを探し出せる驚異的な視力。ハンターぽくはないですが、やはり鷹の仲間です。

【レンジャー：黒川周子】

* 過眼線・・・くちばしの基部から眼の前後を通る線のこと

1月の生物ごよみ

昨年12月初めからセンター裏庭でスタートした野鳥のレストラン。設置してから1週間ほどで何者かによって壊されてしまいました。

翌日より確認のためセンサーカメラを仕掛けたところ、予想通りイノシシの仕業だということがわかりました。その後、木と木の間に針金を張り、吊るすタイプのバードテーブルに入れ替え、被害はおさまりましたが、イノシシは毎日のように来ているようです。

バードテーブルの様子



設置したばかりの餌台 2016年12月1日撮影

餌台の立ち杭を揺らすと餌が落ちてくることを学習したのか無残にもすべてが壊されてしまいました。



現在はこんな状態に 2016年12月16日撮影



センサーカメラで撮影。2頭のイノシシが現れた。17時30分ごろから21時の間に出没。捕まったのはオスのイノシシだった。2016年12月14日撮影

バードテーブルを壊したのはこのイノシシたちのようです。数日後近所に仕掛けていた『箱罠』にかかり1匹は駆除されました。



年の初めはイノシシの話題が中心になってしまいましたが、もちろん野鳥たちも、例年と比べ数は少ないですがきています。今よく見られるのはヤマガラ、シジュウカラ、スズメ、ヒヨドリなど。今年もたくさんの種類がセンターのバードテーブルにやってくることを期待したいと思います。

ここ最近、太白山周辺で確認されている冬鳥たちはルリビタキ、ジョウビタキ、ウソ、ベニマシコ、アオジ、カシラダカ、マヒワ、アトリなどです。

今年は酉年。干支にちなんであなたも新年からバードウォッチングをはじめてみませんか。

【レンジャー：齋 正宏】



レンジャーの森の雑記帳



あけましておめでとうございます。太白山自然観察の森にもまた新しい一年が巡ってきました。若い時はあまり気に留めたことはなかったのですが、歳をとったせいか冬の風景に惹かれてしまうことが時々あります。真っ白い雪と淡いグレーの雑木林と黒い森のコントラストがとても美しく見えたり、電線から落ちた新雪が朝日に反射して光り輝いたり、霜が枯れた植物に降り、綺麗な銀色の縁取りをつけたりと思わず目を奪われます。そんな冬のある日、園内でひと際元気な声でヒ～ヨ♪と鳴いているヒヨドリがいます。そんなヒヨドリを見ているとだいぶ以前に見た光景をたまに思い出すことがあります。ヒヨドリは以前、自宅の庭に設置してあった餌台で、仲良く食べている他の小鳥たちを追い出しては餌台を独占してしまう困った鳥だったのですが、初夏の頃に自宅の玄関先のモミジに巣を作ったので、出勤時に毎朝見ていると、雨が強く降った日も日照りの日もしっかり巣を守って動かない姿に少しずつヒヨドリへの印象が変わっていきました。そんなある日、休日できつろいでいると鳥のギャーギャーというただならぬ悲鳴で外に出てみると、数枚の羽と2度と戻ることにはない巣だけが残されていました。あんなに風雨に耐えて営巣していたのにこんな結果になるとは思いもよりませんでした。



自然界のことなので、ヒヨドリの命運を変えることは出来ませんが、人の声と同じぐらいの絶叫を上げたヒヨドリに、大切なものを守るといふ何かを教えてもらったような気がしました。

【レンジャー：阿部正明】



第8回

お正月には欠かせない 長寿と繁栄の縁起物

マツ 松

お正月とは、年の初めに歳神様をお迎えし、今年1年良い年になるよう祈願するための行事です。門松や注連飾りなどのお正月飾りは、そのためのもので、マツが使われるのにはどんな意味があるのでしょうか。

マツは冬でも青々とした葉をつけ、1年中変わらない常緑の姿から、**長寿と繁栄の縁起物**となっているのです。

ところで**仙台には伝統的な門松がある**のはご存知ですか？下の写真は江戸時代に仙台藩で飾られていた門松を再現したものです。一般的に見る門松とはちょっと違った趣ですが、**マツの枝が強調されたマツが主役の門松**です。

仙台城に飾られた門松の松は、根白石村（現在の泉区根白石）の御領林から御門松上人（おんかどまつあげにん）という特別な役割の家が納めることになっていたそうです。

観察の森の尾根沿いにはアカマツが生えています。そのマツ達に「今年も多くの動植物が健やかに繁栄し、たくさんの市民の方々をお迎えできますように」とお願いしようと思います。



- ①真柱（しんばしら）松をくくりつける支柱
- ②三階松（さんかいまつ）三層に枝分かれた松。仙台城では三階、七階の松が使われた。
- ③笹竹 三階松の上に挿したり、松と松をつなぐように横に渡す
- ④鬼打木（おにうちぎ）真柱の根元に巻き付ける板
- ⑤ケンダイ 松と松の間のしめ飾り

- ・マツ科
- ・常緑高木
- ・クロマツは乾燥と湿気に強く海岸沿いを中心に自生する。
- ・アカマツは乾燥に強く尾根筋などに自生する。
- ・球果は通称「松ぼっくり」と呼ばれている。

色々な松ぼっくり



松 なるほど 〇×クイズ

- 問1 マツタケはカラマツ林に生えている。
- 問2 松ぼっくりの種を食べてエビフライのようにするのはリスである。
- 問3 日本三景（天橋立、宮島、松島）に自生しているのは全てクロマツである。

※答えは欄外をご覧ください

松ぼっくりをエビフライにしたのは誰のしわざかな？

【レンジャー：遠藤和子】

問1×（アカマツ林に生えています。ただし観察の森で見つかったことはありません。） 問2〇
問3×（宮島と松島はほとんどがアカマツです。）



1月のイベント&お知らせ



◆草木染め体験

・身近にある草や木を使ってハンカチなどを染めます。

【日 時】：1月21日（土）午後1時半～3時半

【定 員】：10名〔先着 電話受付〕

【持ち物】：汚れても良い服装（エプロンなど）、ゴム手袋

【参加費】：600円（材料代） 【申込み】：1月6日（金）午前9時から電話で



◆冬の森の観察会

・冬の森の中で生きる動物たちの生活サインをさがします。

【日 時】：1月28日（土）午前10時～11時半

【定 員】：20名〔先着 電話受付〕

【服 装】：歩きやすく暖かい服装，長靴など防水性のある靴

【参加費】：無料【申込み】：1月7日（土）午前9時から電話で



◆「野鳥のレストラン」を開いています！（3月末まで）

・えさ台に集まる野鳥を、あたたかい部屋の中から観察できます。

◆12月から3月までのガイドウォークは午前1回です。

・冬季（12月から3月まで）は午前10:00～11:30のみの開催となります。お間違いのないようお越し下さい。

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日！

1月の開催日は

8日、15日、22日、29日です。

※29日は「館長と森を歩こう」です。

開催時間：午前 10:00～11:30

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



ヤマツツジの丘からヨシの湿地へ通じる橋が老朽化のためしばらくの間通行止めになります。

1月の休館日

年始1日～4日

10日、16日、
23日、30日



宮城交通バスの場合

- ① ♀ 仙台駅 7番のりば 乗車時間 約40分
 - ② ♀ 長町駅西口 3番のりば 乗車時間 約30分
 - ③ ♀ 八木山動物公園駅 6番のりば 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地経由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
 ※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘経由山台南ニュータウン行」
 いずれも♀公営アパート前 下車→徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」
バックナンバーはWebでチェック！

2017年1月号（毎月1回5日発行）

発行：（公財）仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/>

web/info/taihakusan/index.html